

2022年7月27日

【日本企業唯一】ビフィズス菌でGRASを取得しているのは森永乳業だけ※1 「ビフィズス菌MCC1274」「ビフィズス菌M-63」 米国でGRASを取得

森永乳業は、このたび「ビフィズス菌 MCC1274 (*Bifidobacterium breve* MCC1274)」「ビフィズス菌 M-63 (*Bifidobacterium longum* subsp. *infantis* M-63)」の2つの菌株が、GRAS (Generally Recognized as Safe)※2を取得しましたのでお知らせいたします。(GRN No. 1002, GRN No. 1003)

GRAS を取得したことにより、米国において一般的に安全と認められる食品として評価されたこととなります。よって、米国で「ビフィズス菌 MCC1274」「ビフィズス菌 M-63」を一般食品向け用途として販売することが可能となりました。また「ビフィズス菌 M-63」においては、乳児向けの用途でも取得し、育児用調製粉乳等にも添加することが認められました。

※1 FDA GRAS Notices (2022年7月22日時点)

※2 GRAS (Generally Recognized as Safe)とは、米国にて新規に使用される食品原料に関して、該当素材の食品素材としての安全性を専門家が評価し、素材の特徴、製造工程、品質管理、製品スペック、使用実績、臨床試験結果等の項目が検討されます。GRAS は米国内で食品の原料となる素材を販売する際に必要となります。

当社のビフィズス菌では、2013年に「ビフィズス菌 M-16V (*Bifidobacterium breve* M-16V)」が一般食品向け用途 (GRN No.453) と乳児向け用途 (GRN No.454) で GRAS を取得しています。また、2009年に「ビフィズス菌 BB536 (*Bifidobacterium longum* BB536)」が一般食品向け用途 (GRN No. 268) で GRAS を取得した後、2019年に乳児向け用途 (GRN No. 877) でも取得しています。日本企業においてビフィズス菌で GRAS を取得しているのは森永乳業のみです。

当社では、森永乳業グループ 10年ビジョンにおいて2029年3月期までに「海外売上高比率 15%以上」を達成することを目標としており、ビフィズス菌をはじめとした当社独自の機能性素材の海外展開を強化いたします。

<森永乳業の GRAS 取得状況>

菌株	一般食品向け用途	乳児向け用途
ビフィズス菌 BB536	2009年7月取得 (GRN No.268)	2019年12月取得 (GRN No.877)
ビフィズス菌 M-16V	2013年9月取得 (GRN No.453)	2013年9月取得 (GRN No.454)
ビフィズス菌 MCC1274	2022年7月取得 (GRN No.1002)	-
ビフィズス菌 M-63	2022年4月取得 (GRN No.1003)	

※シールド乳酸菌®は、自己認証 GRAS を 2018年6月に取得しています。

<「ビフィズス菌 MCC1274」について>

当社独自の機能性素材「**ビフィズス菌 MCC1274**」は、脳と腸の関係に注目して森永乳業が保有する数千株の中から見出したビフィズス菌で、乳児から発見されたヒトの腸内にすむビフィズス菌の種類の一つです。健常な中高年の方の加齢に伴い低下する認知機能の一部である記憶力^{※3}、空間認識力を維持する働きが報告されています。

※3 記憶力とは、見たり聞いたりした内容を記憶し、思い出す力のことです。

<「ビフィズス菌 M-63」について>

当社独自の機能性素材「**ビフィズス菌 M-63**」は、乳児から発見され、主にヒトの乳幼児の腸内にすむビフィズス菌の種類の一つです。母乳中に含まれるヒトミルクオリゴ糖の利用能力が高いことや、他のビフィズス菌(ビフィズス菌 BB536、ビフィズス菌 M-16V)と組み合わせて摂取することで、低出生体重児におけるビフィズス菌の腸内への早期定着を促したことが報告されています。



<ビフィズス菌 MCC1274>



<ビフィズス菌 M-63>